

| 10 製品仕様 | | |
|---------------|--|--|
| 準拠規格 | | |
| | IEEE 802.3 IEEE 802.3u IEEE 802.3ab IEEE 802.3x | 10BASE-T 100BASE-TX 1000BASE-T Flow Control |
| 適合規格 | | |
| 安全規格 | UL60950-1 CSA-C22.2 No.60950-1 | |
| EMI 規格 | VCCI クラス B | |
| 電源部 | | |
| 定格入力電圧 | AC100 - 120V | |
| 入力電圧範囲 | AC 90 - 132V | |
| 定格周波数 | 50/60Hz | |
| 定格入力電流 | 0.5A | |
| 最大入力電流 | 0.25A | |
| 平均消費電力 | 12W (最大 14W) | |
| 平均発熱量 | 43kJ/h (最大 50kJ/h) | |
| 環境条件 | | |
| 動作時温度 | 0 ~ 40℃ | |
| 動作時湿度 | 80%以下 (結露なきこと) | |
| 保管時温度 | -20 ~ 60℃ | |
| 保管時湿度 | 95%以下 (結露なきこと) | |
| 外形寸法 (突起部含まず) | | |
| | 195(W)x116.5(D)x36.5(H)mm | |
| 質量 | | |
| | 700g | |
| スイッチング方式 | | |
| | ストア&フォワード | |
| MAC アドレス登録数 | | |
| | 4K (最大) | |
| MAC アドレス保持時間 | | |
| | 300 秒 | |
| メモリー容量 | | |
| パケットバッファ容量 | 128KByte | |

11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口
☎ 0120-860332
携帯電話 / PHS からは：045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター
http://www.allied-tesesis.co.jp/support/info/

☎ 0120-860772
携帯電話 / PHS からは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00
13:00～18:00

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただてかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

製品名 (GS908E)、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

| |
|---|
|  |
| S/N 0047744990805087 Rev A1 |

図 12 シリアル番号シール (例)

● 設定や LED の点灯状態について

- LED の点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

- 本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

- 弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

- 弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

18 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

☎ 0120-860442
月～金（祝・祭日を除く）9:00～17:30

19 マニュアルバージョン

2006 年 2 月 Rev.A 初版

2006 年 3 月 Rev.B 表記訂正

2006 年 7 月 Rev.C マグネット注記追加

2006 年 8 月 Rev.D 誤記修正



613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

613-000408 Rev.D 060817

この度は、CentreCOM GS908E をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 8ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

1 特長

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 8ポート装備

- DC 電源ケーブル固定バンドを標準装備

- ファンレス設計

- ポートの通信状況が一目でわかる LED を装備

- オートネゴシエーション機能をサポート

- 全ポート MDI/MDI-X 自動切替機能をサポート

- フローコントロール機能をサポート
 - Half Duplex 時：バックプレッシャー
 - Full Duplex 時：IEEE802.3x PAUSE

- Jumbo フレーム対応 (9728 Byte 以下)

- 最大 4 K の MAC アドレスを登録可能

オプション (別売)

- 壁設置用ブラケット AT-BRKT-J23 により、壁面への設置が可能





- マグネット Kit XS により、スチール製壁面への設置が可能（1セットで本機 2 台設置可能）

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-tesesis.co.jp

2 アイコンの説明

| アイコン | 意味 | 説明 |
|---|-----|----------------------------------|
|  | ヒント | 知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。 |
|  | 注意 | 物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。 |
|  | 警告 | 使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。 |
|  | 参照 | 関連する情報が書かれているところを示しています。 |

安全のために

必ずお守りください


付属のACアダプターを以外で使用しない
火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターをご使用ください。

付属品を使え


コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えるで発熱による火災の原因となります。


たご足禁止


設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け





電源ケーブルを傷つけない。
火災や感電の原因となります。電源ケーブルやプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

電源ケーブルを傷つけない


清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください



石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

- ・振動の激しい場所

- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所

電圧注意


Allied Telesis

3 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。

- CentreCOM GS908E 本体（1台）

- ACアダプター（1個）

- ゴム足（粘着タイプ 4個）

- DC電源ケーブル固定バンド®（1個）

- 製品保証書（1枚）

- シリアル番号シール（2枚）

- ユーザーマニュアル（本書）

※ バンドを本体に固定するネジが1個同梱されています。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

4 各部の名称と機能

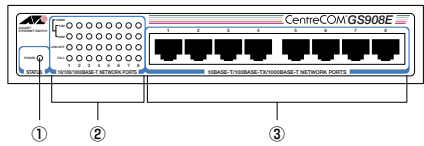


図1 外観図(正面)

① **POWER LED (緑)**
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

② **PORT LED**
○ 10M、100M (緑)
10Mは、ポートが10Mbpsで動作しているときに点灯します。100Mは、ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。10Mと100Mが点灯しているときには、1000Mbpsで動作していることを示します。

○ LINK/ACT LED (緑)
ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、パケットを送受信しているときに点滅します。

○ FULL LED (緑)
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half Duplexで動作していることを示します。

③ **10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート**
10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

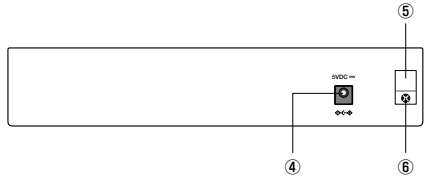


図2 外観図(背面)

④ **DC ジャック**
本体にDCプラグを接続するためのコネクタです。

⑤ **DC 電源ケーブル固定バンド**
DC電源ケーブルを固定するバンドです。

⑥ **固定バンド取り付けネジ穴**
DC電源ケーブル固定バンドを本体にに取り付けるためのネジ穴です。ネジは同梱されています。

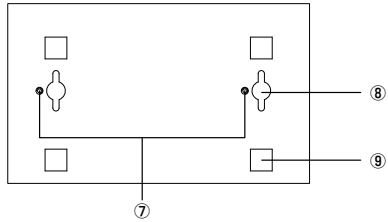


図3 外観図(底面、ポート下向き)

⑦ **マグネット Kit 取り付け位置 (2箇所)**
オプション (別売) のマグネット Kit を取り付けするネジ穴です。

⑧ **壁面設置穴 (2箇所)**
本製品を壁面に設置するための穴です。

⑨ **ゴム足取り付け位置 (4箇所)**
同梱のゴム足を貼付する場所 (□型の枠) です。

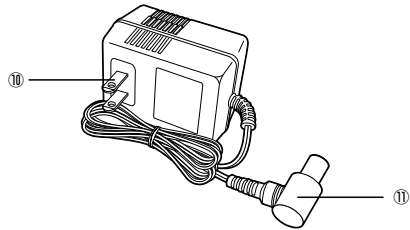


図4 ACアダプター

⑩ **AC プラグ**
ACアダプターを電源コンセントに接続するためのプラグです。

⑪ **DC プラグ**
ACアダプターを本製品に接続するためのプラグです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

設置

本製品は、デスクトップなど平らなところ、または壁面に取り付けで使用できます。

平らなところに設置する場合は同梱のゴム足をご使用ください。また、壁面に設置される場合は、オプション (別売) の壁設置用ブラケットまたはマグネット Kit を使用するほか、タッピングスクリューによる設置も可能です。

ヒント マグネットキットとゴム足は同時に使用することはできません。

● 平らなところに設置する (ゴム足を取り付ける)

本製品をデスクの上などに設置して使用する場合は、本体底面の四隅にある□型の枠に同梱のゴム足を貼り付けてください。

ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ずゴム足を使用してください。

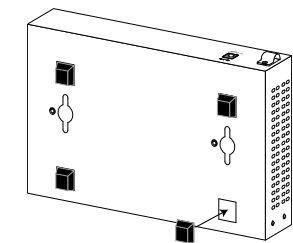


図5 ゴム足の取り付け

オプションを利用した設置

本製品は、オプション (別売) を利用することにより壁面に取り付けることができます。

● **壁面への取り付け**
壁設置ブラケット (AT-BRKT-J23) をご使用ください。

● **スチール製壁面への取り付け**
スチール製の壁面への設置には、マグネット Kit XS をご使用ください。

ヒント マグネット Kit XS に同梱されているマグネットは4個ですが、本製品では2個使用します。

取り付けに関しては、オプション付属の取扱説明書をご参照ください。また、設置可能な方向については弊社 Web ページにてご確認ください。

<http://www.allied-teleis.co.jp/>

タッピングスクリューによる壁面への設置

本製品は、壁面設置用タッピングスクリューを使用することにより壁面に取り付けすることができます。

注意 しっかりした壁に取り付けてください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

ヒント ・石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。

・タッピングスクリューは M3 を使用してください。なお、本製品には、壁面設置用タッピングスクリューおよびプラスチックアンカーは同梱されていません。使用の際は、お客様にてご用意ください。

1. 設置場所と設置方向を決める

電源ケーブルおよび UTP ケーブルの接続が可能であること、また、LED の表示が監視可能であることを確認してください。

2. タッピングスクリューをねじ込む

タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2箇所の壁面設置穴の間隔と同じになるようにタッピングスクリューをねじ込みます。このとき、ネジと壁の間を1mmほど残してください。

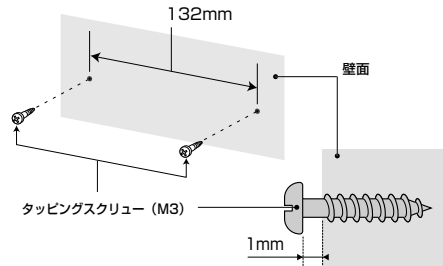


図6 タッピングスクリューの間隔

プラスチックアンカーの使用について

プラスチックアンカーを使用する場合は、きりやドリルなどで開けた穴に押し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込んでください。

注意 穴はプラスチックアンカーが入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると落下の原因となります。

3. 本体を壁に取り付ける

壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして取り付けます。このとき、ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

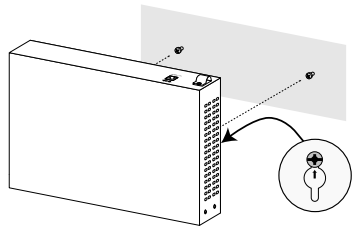


図7 本体の取り付け

6 接続

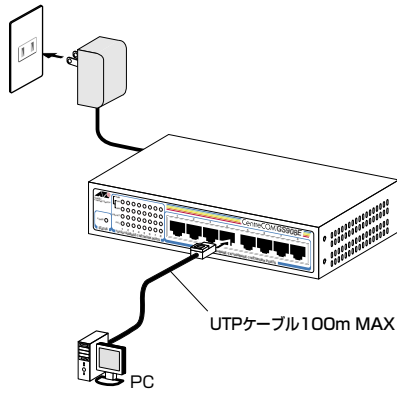


図8 本製品への UTP ケーブルの接続

ネットワーク機器の接続

● UTP ケーブルの接続

UTP ケーブルを使用して本製品と PC などの端末を接続します。本体の LAN ポート (RJ-45) に UTP ケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。

ヒント UTP ケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● UTP ケーブルのカテゴリー

10BASE-T 接続の場合はカテゴリー 3 以上、100BASE-TX カテゴリー 5 以上、1000BASE-T 接続の場合はエンハンスド・カテゴリー 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

● UTP ケーブルのタイプ

本製品は MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、どちらのケーブルタイプ (ストレート/クロス) でも使用できます。

● UTP ケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは、100m 以内にしてください。

電源ケーブルの接続 (本製品の起動)

本製品は、AC アダプターを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

警告 本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されている AC アダプターをご使用ください。不適切な AC アダプターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

注意 本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

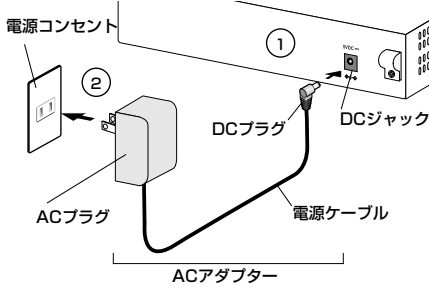


図9 ACアダプターの接続

1. 本体側の DC プラグを接続する

本体背面の DC ジャックに AC アダプターの DC プラグを差し込みます (図9の①)。

DC 電源ケーブルを固定する

本製品には、DC 電源ケーブル固定バンドが同梱されています。安全にご使用いただくために次のとおり正しく取り付けてください。

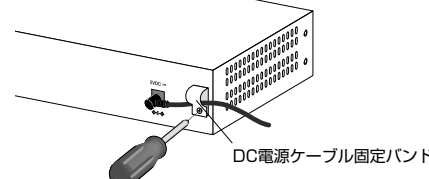


図10 DC電源ケーブルの固定

2. AC アダプターを電源コンセントに接続する

AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し込みます (図9の②)。このとき、本体前面の POWER LED (緑) が点灯することを確認してください。UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートの LINK/ACT LED (緑) が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の AC プラグを抜いてください。

警告 電源コンセント側に差し込んだまま、本体背面に接続した DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

ヒント 電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

7 カスケード接続

本製品は、全てのポートで MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしていますので、ケーブルの種類 (ストレート/クロス) および接続先のポートの種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、簡単にカスケード接続ができます。

ヒント ・スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

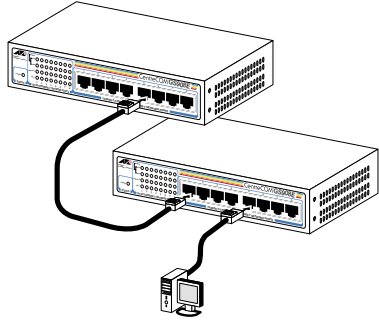


図11 カスケード接続の例

本体の任意の RJ-45 ポートに UTP ケーブルを接続し、もう一端を接続先機器の任意のポートに接続します。

8 設定

通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードを Half Duplex に設定してください。

| 接続先ポート | | GS908E |
|--------------|------|--------|
| 10M/ 100M | Half | ○ |
| | Full | — |
| | Auto | ○ |
| 1000M | Auto | ○ |

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● **電源をオフにした後、すぐにオンにしていませんか?**
電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。

○ 正しい UTP ケーブルが断線なく正しく接続され、障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

○ UTP ケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくい (結線が良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

○ ケーブルの長さが制限を越えていないことを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています (ただし、100Mbps のクラス II のリピーターをカスケード接続する場合のリピーター間は 5m 以内としてください)。

○ ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。

○ 接続先機器の通信モードを確認してください。本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。

IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品のポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。